



2024年度写真公募展×招聘作家

親密な風景を拾う



Um, yes, this is...uh...an old T-shirt. The picture on this T-shirt is like a ghost, no
And...this picture represent 5 guys, uh, those guys are old Japanese. This is a Japanese boys band
Um, this T-shirt, represent something really special for me. It's a my first travel in Japan.

...because I wash and wash and wash lots of time this T-shirt. There are some coffee marks. And texture...the texture was different now than 12 years ago.

...J-pop. The name of this boys band is "Anashi".

Oh...during this travel, I lost...pyjama...uh...suite...don't I remember the English name. "Suite night?" ...No, I don't remember...pyjama.

2024 **12.13** Fri - **12.22** Sun

開館時間 9:30~17:30 (入館は17:00まで)

休館日: 月曜日

主催: 明石市立文化博物館

共催: 公益財団法人明石文化国際創生財団

入場無料

明石市立文化博物館
AKASHI CITY MUSEUM OF CULTURE





展覧会サイト

Collecting Intimate Sceneries

当館では、毎年テーマを変えて、明石の風景や季節の風物詩を題材とした写真公募展を行い、今一度地域の魅力や日常について考える機会を提供してまいりました。今年度は、個人が残したいと思うモノやコト、場所、他者と共有したい記憶や体験を記録した写真を募集するとともに、モノに宿る記憶をテーマに制作する二人の現代美術作家を紹介します。

既成概念にとらわれず、新たなものの見方を提示する現代美術作家のアプローチは、鑑賞者の想像力を刺激し、異なる価値観や分野との出会いにつながる契機と考えます。取り壊される建物の廃材の一部を用いてウクレレを作り、元の持ち主に手渡していく「建築物ウクレレ化保存計画」の活動を2000年から継続する伊達伸明。通常はゴミとして捨てられる「いらぬ服」を出会った人々から譲り受け、持ち主とその服との思いや記憶を服に綴る山村祥子。人とモノとの関係や取るに足りない個人の記憶や思い出は、目まぐるしく移り変わる現代の消費社会の中で、いつの日か失われていくものです。そうした流れに抗うかのように、あえて時間をかけてそれらをパブリックにひらく二人の実践は、他者へと共感を広げ、芸術表現の力となって、見るものに新たな景色を見せてくれるでしょう。



1



2

1. 伊達伸明〈桃林堂ウクレレ〉(2020年/愛知県江南市)
2. 山村祥子〈いらぬ服に別れを〉 2020年 インスタレーション

【関連事業】 ※参加費無料

■トークイベント「風景を拾う話」

これまで着目してきた路傍のカケラたち（波板、電柱、文字など）の魅力について



2024年12月14日(土) 14:00~15:30

講師：伊達伸明(本展出品作家)

定員：80名

会場：2階大会議室

■ワークショップ「いらぬ服に別れを」

作品を鑑賞後、ご持参いただいた「いらぬ服」にその服にまつわる記憶を刺繍してみませんか。



2024年12月21日(土) 14:00~15:30

講師：山村祥子(本展出品作家)

定員：10名

対象：中学生以上

会場：2階大会議室

◆イベント申込方法◆

各イベント右横の二次元コードまたは当館ホームページより専用フォームにてお申込ください。

11月16日(土)午前10時より先着順にて受付します。

(定員に達し次第締切)

お申込後にキャンセルや人数が減る場合は、ご連絡ください。

イベントには手話通訳・要約筆記者の派遣ができます。

(直前にお申込の場合は対応できないことがあります。)

伊達伸明 DATE Nobuaki

1964年生まれ。京都市立芸術大学美術学部大学院工芸科修了。取り壊される建物をウクレレにして保存する「建築物ウクレレ化保存計画」のほか、立版古による建築記憶の伝承、各地で地域資源再発掘型の展覧会の企画監修活動に関わる。

*活動・展覧会(共同出品含む)

重炭香古学(2012~2015/せんだいメディアテーク)、アートと考古学(2016/京都文化博物館)、とりのゆめ(2017/神戸アートビレッジセンター)、しらべの細道シリーズ(2017~2020/東北リサーチとアートセンター)、ミカエルさん(2019~2020/崇仁小学校)、お線香の歩き方(2021/甲賀市信楽町)、「自治とバケツと、サイカチの実」(2022~2024せんだいメディアテーク)など。

山村祥子 YAMAMURA Shoko

1984年生まれ。兵庫県在住。アメリカで現代美術を学ぶ。主に都市の消費者生活に焦点を当て、周囲の環境(もの・こと・ひと)に関して自他のコミュニケーションの在り方や他に向かう態度を問いかけ、提案することを大きなテーマとしている。

*展覧会

2024年：「Cultural Kaleidoscope」MOM Art Space,ドイツ、2023年：「CAP LAB ROKKO: マウン展」六甲ミーツ・アート芸術散歩2023,神戸、2022年：個展「いらぬ服に別れを(2020-2022)」KOBE STUDIO Y3ギャラリー,神戸、小川美陽&山村祥子二人展「ROOM01」NU茶屋町8F window gallery,大阪、「はならあと2021」天理,奈良

明石市立文化博物館

〒673-0846 兵庫県明石市上ノ丸2丁目13番1号

TEL.078-918-5400 FAX.078-918-5409

https://www.akashibunpaku.com/



【交通アクセス】

電車：JR・山陽電車明石駅より北へ徒歩5分
車：第二神明「大蔵谷」出口より南西へ10分
第二神明「伊川谷」出口(東行きのみ)より南へ10分

【駐車場】

駐車場数32台(有料)
1台1時間につき100円(1時間未満の端数は1時間とする)
※駐車台数に限りがある為、公共交通機関、または近隣の駐車場をご利用ください。
※マイクバスなどのご来館は事前にお知らせください。

▶ 本展展覧写真作品募集中!

応募方法：右記二次元コードの募集要項をご確認の上、専用応募フォーム、または、当館まで郵送にてお送りください。

